

わらす組の生活(ルールやルーティーン)に慣れ、

排泄や身支度など自分でできることを増やしていく

～身支度も自分でやったり楽しむ姿もみられるように～



10月に入り、散歩にやっと行けるようになってきてから、久しぶりのわらす全体での戸外活動は人数も刺激も多く、行き帰りだけで疲れてしまう姿が多くありました。そこでわいわいだけの時間を作りました。ゆったりと身支度をする時間を取ることで、友だちの姿もよく見え、身支度を行うことを楽しんでいるようでした。だんだんその身支度も子どもたちの体に身についてきているようで、何度も繰り返す中でどんなに疲れて帰ってきても自ら行う姿もありました。

～小さい集団の中で、集まったり役割を楽しむ経験を積み重ねていきました～



この頃からお当番活動もルーティン化していました！

お集まりに対し、初めは憧れもありましたが、最近は人数が多いことで集まることのハードルが高かった様子でした。ですが、当番の役割を楽しんだり、わいわいだけの集まりに集まったり、生活の中でちょっとした集団行動を作り集まることを楽しんでいました。わいわいだけの時間を持つことで、一段と友だちを意識し我慢しなければならない場面も多くなっていく中で子どもたちの心の揺れ動きに寄り添い、たっぷり時間を取って関わってきました。

らんらん組とすいすい組のお姉さんお兄さんの姿を見

たいかかわりを持ったいしながら、あこがれを持って生

活していく

## ～心地の良い雰囲気の中で野球を楽しむ～

憧れの野球！！



らんすいの子どもたちの中で盛り上がりを見せている野球。あまねくんは生まれたときから入っているので、ルールも理解しています。ピッチャーも上手で、皆から「あまね投げてー！」と声がかかることも！ゆうかちゃん、あきとくんも憧れがあり、少し緊張しながら入っていました。れんくん、ゆうりくん、まつるくんが、二人に持ち方や打ったら走ることなどいろいろなルールを教えてくれたり、ルールもいつもより優しくしてくれたり！らんすいの子どもたちが作る心地いい雰囲気の中でわいわいの子どもたちも楽しんでいました。

## ～戸外活動でも異年齢が混ざった中で、ルールのある遊びを楽しんでいきました～



「はるとくん、こうやって登ってごらん！」

11月に入ると、わいすい、わいらん、わらす全体での戸外活動が増えてきました。クラス単独の活動を通し自律しながら過ごしていくことで、らんすいの子どもたちにもがむしやらについていくわいわい組。らんすいの遊びに混ぜてもらいながら、ごっこ遊び、時にはルールのある遊びなどの輪に入り、お兄さん、お姉さんに助けてもらいながら、憧れを持って過ごしていました。

## 戸外、室内遊びの中で、「やりたい！」から

## 様々な体験、経験をしていく

～新鮮な素材をもちこみ、そこで創発する感情やアイデアを楽しみながら  
他者の思いの違いに気付いたり、モノの性質や仕組みに驚いたりして感性を豊かに～



紙コップ400個やわいわい単独の散歩を経て、自分の気持ちや相手の思いに気づいたり、いろいろな体験をしていた子どもたち。誰と手を繋ぐか話し合ったり、貸し借りの相談など、友だちとの関わりの中で体験・経験をしてきました。  
お楽しみ会のパン作りやお店屋さんの活動を通して、素材とのかかわりも楽しみ、手先の感覚を使った遊びも発展してきました。

～駅や電車などの公共機関に足を運び、場所や状況に応じた行動を学びました～



戸外活動で行き帰りに電車を使う活動が始まり、公共のルール・マナーを知る機会を多くとっていきました。電車の活動では、切符、エレベーターのボタン、音が響くホーム、お気に入りの手すりなど、子どもたちにとって魅力的なものがたくさん！やりたい！という気持ちを時には我慢することが必要になる、公共の場。電車の活動を通し、自分の気持ちをぐっと我慢したり、疲れていても行き帰りしっかりと歩いて帰ってくることを少しずつ身につけていきました。心と体をたくさん使って、時に疲れも見られていましたが、一生懸命な姿がたくましく感じました。